

令和7年第36回定例公安委員会会議録

開催日時	令和7年11月20日（木）午後0時00分～午後2時45分					
開催場所	警察本部					
第1 定例会議						
1 開催時間 午後1時30分～午後2時6分						
2 出席者						
公安委員会 久本委員長 笠田委員 杉原委員						
警察本部 青山警察本部長 渡邊警務部長 渡邊首席監察官						
山川生活安全部長 細田刑事部長 宮田交通部長						
永島警備部長 山本警察学校長 永井情報通信部長						
生田警務部参事官						
（事務局等～柳原公安委員会補佐室長、総務課員）						
3 議題事項						
4 報告事項						
○各種大会報告（警務部）						
○令和7年度中国四国管区広域緊急援助隊合同訓練への参加（警備部）						
（1）各種大会報告（警務部）						
警察本部						
職員が出場した大会の結果と、近く出場を予定している大会について報告する。まず、大会結果についてであるが、第73回全日本剣道選手権大会に機動隊の職員が出場したが、1回戦で千葉県の選手と対戦し、敗退となった。						

次に、出場を予定している大会についてであるが、11月28日に警視庁術科センターで、令和7年度全国警察逮捕術大会及び全国警察拳銃射撃競技大会が開催され、それぞれ各術科特別訓練員が出場する予定である。

委員

全日本剣道選手権大会について、初戦で敗退となってしまったが、最高峰の大会に出場されたのは大きな経験になったと思う。次回は初戦突破を目標に頑張ってもらいたい。

全国警察逮捕術大会と全国警察拳銃射撃競技大会については、日頃の鍛錬の成果を存分に発揮してきてもらいたい。

委員

特別訓練員同士で競い合い、出場される大会で頑張ってもらいたい。

委員

各種術科大会に出場することで、いざという時の対応力や、組織力の強化、また、私たちの日々の安心と安全につながっていると感じる。

先週、県下の大会を視察させていただいたが、技術の研さんだけではなく、それを支えるチームの方々や、家族の存在に敬意を表したいと感じた。

今後も大会を通じて、強くて優しくて信頼される警察官の姿がより多くの県民に伝わっていくことを願っている。

(2) 令和7年度中国四国管区広域緊急援助隊合同訓練への参加（警備部）

警察本部

この訓練の目的は、近年多発する大雨、台風による被害や大規模地震による被害を想定した実戦的な災害警備訓練を実施することにより、各部隊の練度の向上、部隊間相互及び防災関係機関との連携強化を図るものである。本訓練は、11月13日及び14日に高知県南国市の物部川右岸河川敷で行われた。訓練参加部隊は、各県の警備・交通・刑事の広域緊急援助隊などの合計約300人であり、鳥取県からは6所属23人が参加した。また、その他にも高知海上保安部、高知市消防局、一般社団法人全信工協会から合計約40人が参加した。

今回の訓練では、高度な個別技術の習得に特化した多重事故、倒壊家屋、高所救助などの各救助現場を設定し、総合的な救出救助能力の向上、現場指揮官の育成、関係機関との連携を訓練目標として実施された。訓練参加部隊は、高知県の会場まで陸路で部隊進出し、各部隊の任務に応じた救出救助訓練、情報収集、信号機滅灯対処訓練、検視、身元確認及び遺族対応訓練、映像伝送訓練を行い、警備部隊と機動警察通信隊は現地で自活・野営し、翌日の訓練を実施した。令和6年元旦に発生した能登半島地震においては、当県からも広域緊急援助隊警備部隊、

交通部隊などの7部隊を派遣した。現地では、倒壊家屋、土砂崩れ、道路寸断などといった厳しい状況の中、捜索活動等に従事した。災害は、いつ、どこで発生するか予測がつかないため、今後も、平素の備えと実戦的な訓練を実施していく。

警察本部

情報通信部からは、今年度採用となった新人技官を含む3人が機動警察通信隊として訓練に参加した。大規模災害等発生時は、都道府県警察から広域緊急援助隊が出動するが、情報通信部においても被災地における警察活動の状況把握のための映像伝送や無線通話の確保など、機動警察通信隊の出動の必要性が認められる場合には、県警察からの要請に応じて広域緊急援助隊に帯同して機動警察通信隊が出動する。今回、1日目の訓練では、倒壊家屋からの救出救助や高所からの救出救助の訓練状況をモバイルカメラで撮影し、その映像をアナウンス付きで県警察本部や管区警察局等へ伝送した。また、2日目には、山岳遭難事案等への出動を想定したロープ結束訓練や、管区警察局が保有しているドローンの取扱要領などの訓練を行っている。訓練初日の夜は、広域緊急援助隊の隊員とともに自活訓練、野営訓練を行い、災害現場への帯同を想定した実戦的な訓練を行った。情報通信部においては、引き続き県警察と連携し、機動警察通信隊の対処能力向上を目的とした各種訓練を積極的に行い、職員個々のスキルアップを図り、有事への備えに万全を期していく所存である。

委員

近年は大規模災害が頻発している。管区エリアでもいつ災害が起こってもおかしくない状況で、特に、南海トラフ地震は30年以内にかなりの確率で発生すると予想されているため、こうした訓練の必要性が高まっていると思う。南海トラフ地震は、広域災害になると想定され、広域連携をいかにとるかが重要になってくる。あらゆることを想定しながら訓練を行い、経験を役立てもらいたい。

委員

普段から広いエリアで訓練を行うことは重要だと感じた。情報通信部とも連携し、様々なシステムを活用しながら、訓練を積み重ねてもらいたい。

委員

災害時に即応できる体制づくりを着実に進められていると感じた。県境を越えた広域の取組は、昨今の大規模な災害の頻度を考えると重要な訓練だと思う。シミュレーションに留まらず、現場力・機動力の強化になるように、関係機関との信頼構築に努めていただきたい。

1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取5件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

2 聴聞

運転免許課から、道路交通法に基づく聴聞1件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

3 事前説明

4 報告事項

5 決裁

- ・生活安全関係営業者等に対する行政処分に関する訓令の一部改正について
- ・審査基準・処分基準の一部改正について

6 公安委員会委員間の事前検討・協議等

7 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。